

夏本番です!
水分補給は忘れずに

スマイルカフェのお知らせ

5月18日(土)にスマイルカフェを開催いたしました。今回は、音楽療法士が“音楽療法”にはどのような効果があるのかの解説と参加者との“手話を用いた歌唱”や、“トーンチャイムという楽器を使った演奏”などの実技を行いました。今後も、様々な職種がそれぞれの専門的な立場からお話しさせていただき、地域の皆さまの健康増進に寄与できればと考えています。

スマイルカフェ 会場:札幌西円山病院 喫茶室(札幌市中央区円山西町4丁目7番25号)

認知症の方とその家族のための喫茶室 時間:13:30~16:00 参加費:100円

通算回	日 時	テーマ
第52回	7月20日(土)	認知症と筋力低下 ~動ける体づくりを食事からサポート!~

SAPP RO

札幌市認知症カフェ認定

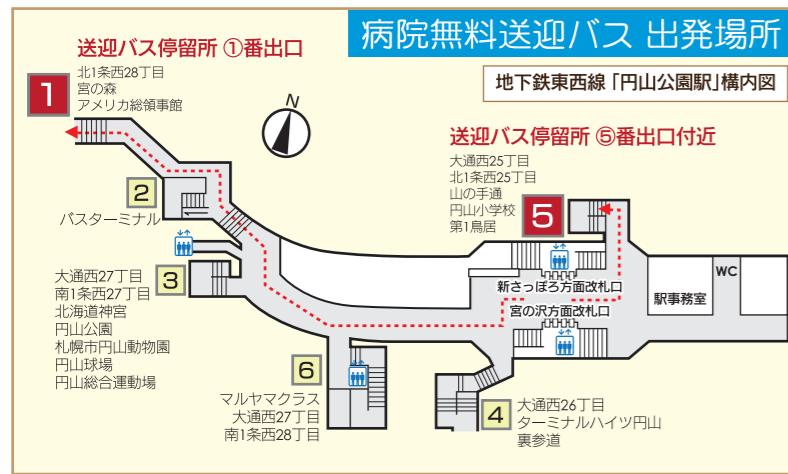
お問い合わせ先

電話:011-642-4121(代表) 担当:企画課 稲垣、佐藤
メール:inagaki-chi@keijinkai.or.jp

無料送迎 バスのご案内



●地下鉄東西線「円山公園駅」より無料送迎バスを運行しておりますので、ご利用ください。(約10分)



無料送迎バスは②番出口/パスターミナルからは乗車できませんので、ご注意ください。
時刻表※のバスは、地下鉄円山公園駅⑤番出口発。その他はすべて①番出口となります。
時刻表★のバスは、土日祝祭日は運休となります。

編集後記

春も過ぎ、少しずつ夏の暖かい日差しが感じられるようになりましたね。皆さんは今年の夏をどのようにお過ごしになりますか?キャンプやバーベキュー、海水浴など、夏はイベントが盛りだくさんです。体調管理に気を付け、この夏をめ一杯満喫しましょう!

「にしまるやま通信」についてのお問い合わせ先

医療法人 溪仁会

札幌西円山病院 地域連携推進室 TEL:(011)644-1380 FAX:(011)642-4347

〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25 札幌西円山病院 地域連携推進室 広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

No.117

ご自由にお持ちください

発行日:2019.7.1

にしまるやま通信



特集 地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟の違いとは?

- ・にしまるやま探検部 第1回
- ・札幌西円山病院ボランティア「銀の舟」交流会・研修会
- ・スマイルカフェのお知らせ
- ・無料送迎バスのご案内

札幌西円山病院

診療科目/内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科

病床数/603床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟)

札幌西円山病院 介護医療院

入所定員/60名(3人床:19部屋、個室:3部屋)



地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟の違いとは？

国が推奨する地域包括ケアシステム実現に向けて、医療・介護分野の役割分担が進んでおり、一施設で治療や介護が完結することが少ない社会となっていました。度々利用者の方は移動を強いられることが多くなっていると感じることもあるのではないでしょうか？

- 病院での治療後に住み慣れた自宅や地域での生活が難しくなり、転院や住まいの変更を考えなくてはいけなくなる方もいらっしゃることと思います。

実のところ病院は各施設が施設基準の届出を行っており、各施設で担っている役割が異なります。よく呼ばれているものとしては急性期・回復期・慢性期などと病期に合わせて呼称されることも多くなっています。

今回は急性期病院での治療後の転帰先の候補としてあげられ、回復期に分類されることの多い地域包括病棟と回復期リハビリテーション病棟の類似点や違いをお伝えできればと思い記載させていただきました。

双方ともに在宅復帰（※）を目指している事に変わりはありませんが、別表からもわかるように回復期リハビリテーション病棟は該当疾患と算定上限日数が疾患別で異なるのに対し、地域包括ケア病棟では疾患は定まってありませんが、入院する目的が決まっており算定上限日数は60日以内とされています。

また、入院後に受けることができるリハビリテーションの時間にも違いがあり病状によりますが、地域包括ケア病棟は1日2単位（1単位20分）以上と診療報酬上定めされてありますが、回復期リハビリテーション病棟は最大で6単位ないし9単位の提供と定められています。（細部の基準については各施設への確認が必要となります）

入院する医療機関を決めるにあたって、費用や面会の通い易さを考慮して決められることも多いと思いますが、病院によって役割や専門性が異なっていますので治療目的や目標設定に合わせて適切な医療機関を選択していただければと思います。

主治医の先生やその病院の看護師や医療ソーシャルワーカーの方に助言を求めてみてください。きっと適切な資源に関する情報提供をしていただけるはずです。

※自宅や居宅系の施設への退院を指します

表1 地域包括ケア病棟入院対象者

入院対象者	算定上限日数
① 急性期治療を終え、病状が安定し自宅退院や施設入居目標の方	60日
② 介護施設や自宅生活中に病状が不安定となり、リハビリテーションをする方	
③ 自宅生活中に介護者の休養を目的とした入院を希望する方	

表2 回復期リハビリテーション病棟対象疾患

	該当疾患・状態	入院までの日数	算定上限日数
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脛腫瘍、脛炎、急性脛症、脛骨炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脛神経収縮等の発症又は手術後、義肢装着訓練をする状態	2カ月以内	150日
②	高次脳機能障害と伴った重症脳血管障害、重度の頭頸部損傷、頭部外傷を含む他部位外傷の発症又は手術後	2カ月以内	180日
③	大脛骨、骨盤、脊髄、股関節、若しくは膝関節、又は2肢以上の多発骨折の発症又は手術後	2カ月以内	90日
④	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により服用症候群を有しており、手術後又は発症後	2カ月以内	90日
⑤	大脛骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は韌帯損傷後	1カ月以内	60日
⑥	股関節又は膝関節の置換術後の状態	1カ月以内	90日

発見！にしまるやま 探検部 第1回

皆様こんにちは、にしまるやま通信編集部です。

今月号よりにしまるやま探検部では、5回の連載で普段見られない場所や設備等についてご紹介していきます。こんなところがあった！などの皆様の発見につながればと考えています。

第1回目は当院から見える景色を紹介します。日中では札幌市内を一望することができ、夜は写真通りの夜景です！景色が一番綺麗に見えると筆者が思うのは、東棟5階食堂と西棟5階屋上です。暖かくなってしまったし、屋上に出て気分転換をされてみるのはいかがでしょうか？

次号では院内で普段見られる機会の少ない場所をご案内予定です。楽しみにしていてくださいね。



札幌西円山病院ボランティア「銀の舟」交流会・研修会

令和元年5月30日（木）に「銀の舟」交流会・研修会を開催いたしました。日々異なるボランティア活動をされている方々の交流の機会と前年度の活動及び今年度の活動計画を報告する場として毎年開かれてあります。今回はボランティアさん11名、職員9名が参加し、昼食を共にしながら交流をしました。

今回は講師にNPO法人シーズネット理事長の奥田龍人様を迎えて研修会も開かれました。「ボランティア活動で豊かなセカンドライフを」という題で“支え合いの地域社会づくり”についてお話を頂きました。地域社会にどのようなニーズがあるのかを先を見据えて考えており、NPO法人シーズネットがどのような活動をしているのかを、時にユーモアを交えながらお話ししてください

ました。シーズネットの活動の目的は地域の困っている方を支援するだけではなく、ボランティアさん自身が活動を通して役割を見つけ、仲間や居場所を作ることでした。その結果ボランティアさん自身が活き活きと暮らすことが出来きます。そのようにお互いがお互いを助け合うことで、地域の人々が幸せに暮らし続けることができるのだなと考えました。

ボランティアの皆さんもとても熱心に聞き入っておられ、とても貴重なお時間となりました。

当院でのボランティア活動に関するお問い合わせは下記にご連絡ください。

地域連携推進室 ボランティア事務局 TEL：011-644-1380



交流会の様子



奥田龍人様